

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

[http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08seisan/04\\_jyouhou/0403seiiku/seiiku.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08seisan/04_jyouhou/0403seiiku/seiiku.html)

第 2 報  
千葉県農林水産部  
平成 21 年 6 月 16 日

- 早生の穂肥を遅れずに
- 中干し後は間断かんがいと湛水管理の組み合わせ

## [生育概況]

田植え後から5月中旬まで高温に推移し、生育は早く進みました。茎数は確保され最高分けつ期を過ぎつつあり、6月15日現在の県全体の水稻の生育はやや早～並の進度です。

5月下旬以降の曇天の影響等により、草丈は高く、やや軟弱です。

早生は幼穂形成期を迎えています。適期穂肥のために幼穂の確認をしましょう。

表 1 品種別の生育状況（6月15日現在）

品種	植付時期	平年遅速	平年比		
			草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日頃	やや早	やや高	並	並
ふさこがね	4月20日頃	やや早	高	並	並
コシヒカリ	4月20日頃	並	高	並	並
	5月1日頃	並	高	やや多	並

※ 平年比は過去5か年（2004～2008年）平均値との比較、ただし「ふさこがね」は過去3～4年（2006～2008年）平均との比較です。

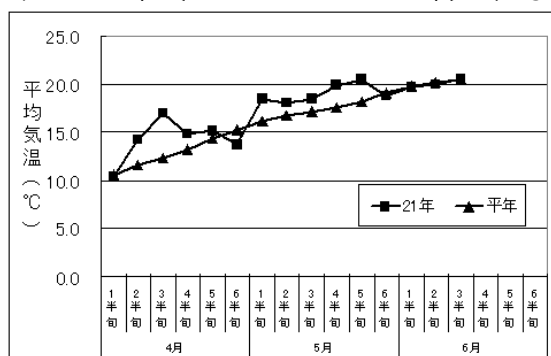


図 1 日平均気温の推移

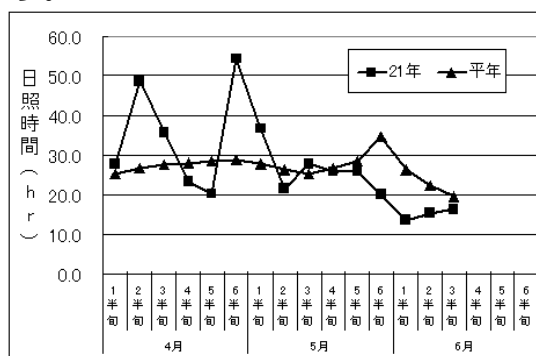


図 2 日照時間の推移

表 2 品種別の幼穂形成期と冷害危険期の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測（月日）				冷害危険期予測(月日)
		県北	九十九里	内湾	県南	
ふさおとめ	4月20日	6月22日	6月15日	6月15日	6月15日	6月25日
ふさこがね	4月20日	6月23日	6月21日	6月20日	6月18日	6月28日
コシヒカリ	4月20日	6月30日	6月28日	6月26日	6月24日	7月4日
	5月1日	7月3日	7月1日	7月1日	7月1日	7月11日

※ 「ふさおとめ」「コシヒカリ」は日平均気温に基づく発育段階予測結果、「ふさこがね」は幼穂長の実測値及び葉令等からの推定値による。

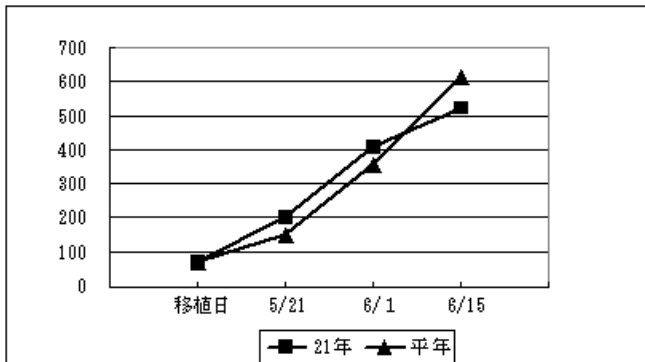


図 3 茎数の推移 (ふさおとめ 4/15~20 植え)

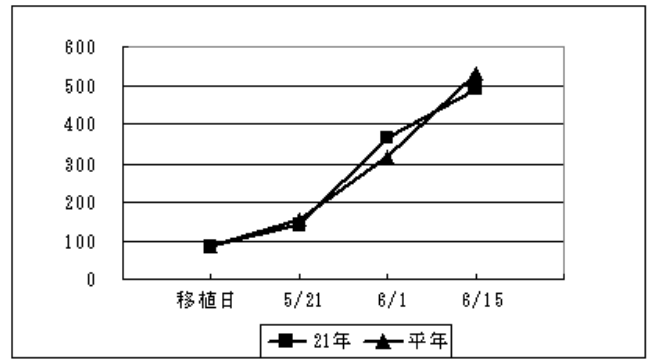


図 5 茎数の推移 (コシヒカリ 4/15~20 植え)

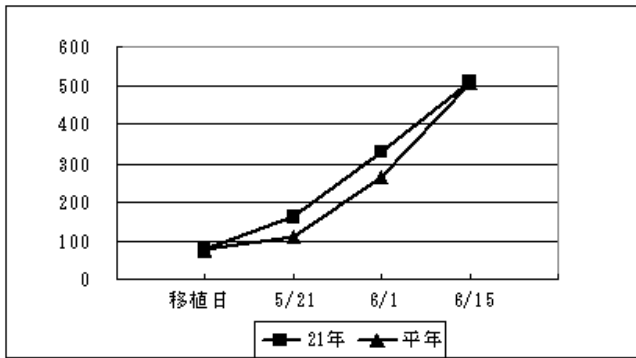


図 4 茎数の推移 (ふさこがね 4/20 植え)

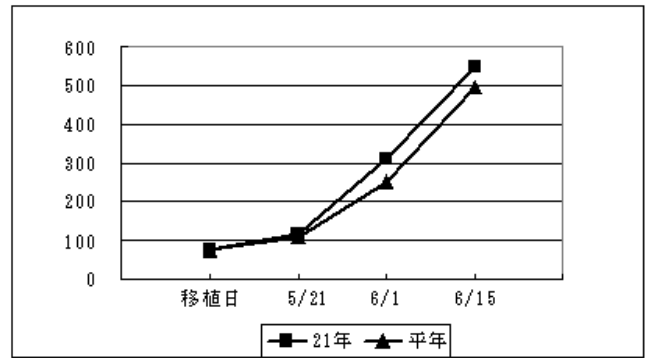


図 6 茎数の推移 (コシヒカリ 5/1 植え)

## [これからの管理のポイント]

### ■ 水管理

#### ○ 中干しから出穂後までの水管理

自然由来のカドミウムの吸収を抑えるために、基本的な中干しの他に③を行うことが有効です。「安心・安全」な米作りのために対策を励行しましょう。

※食品衛生法のコメ規格基準の見直しに伴い、今年度中にカドミウムの残留基準が

1.0ppm から 0.4ppm に引下げられる見込み

- ① 中干しは強過ぎないように、土が湿って足跡が残る程度
- ② 中干しから出穂 3 週間前までは間断かんがい
- ③ 出穂前 3 週間・出穂後 2 週間は湛水管理
- ④ 出穂 2 週間後から出穂 25 日後までは間断かんがい

#### ○ 低温時には湛水

幼穂形成期以降に平均気温 20℃以下の低温持続が予想されるときは、冷害防止のために深水で湛水 (保温) しましょう。

表 3 低温時湛水深の目安

幼穂形成期 (出穂 25 日前) から冷害危険期 (出穂 15~10 日前)	湛水深 10cm 程度
冷害危険期 (出穂 15~10 日前)	湛水深 20cm 程度

## ■ 早生の穂肥

### ○ 穂肥適期は幼穂長 10mm のとき

穂肥の適期を判断するためには、幼穂を確認するのが一番です。

幼穂形成期は幼穂長 1mm（出穂 25 日前）の株が全体の 8 割に達した時点です。ここから数日が出穂 3 週間前（湛水管理開始期）になります。

穂肥の適期は幼穂長 10mm（出穂 18 日前）です。

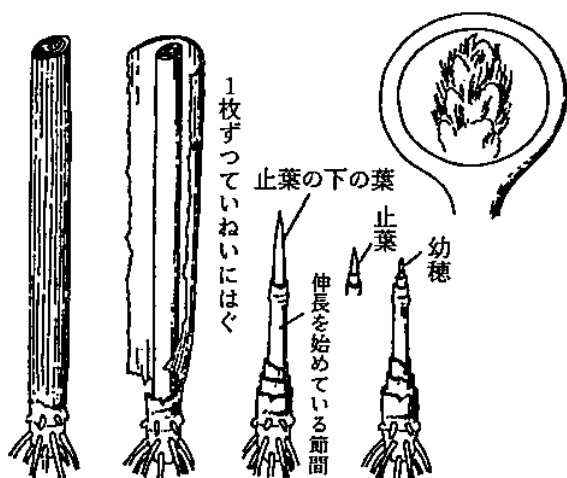


図 7 幼穂確認のやり方

図 8は「ふさおとめ」玄米の粒厚別タンパク含量について、適期の穂肥と 7 日遅れの穂肥とで比較したものです。穂肥の遅れが玄米タンパク含量を高め、食味に悪影響を及ぼす可能性を示しています。

穂肥の適期施用は、収量確保だけでなく、米の品質向上の鍵を握る技術でもあります。必ず自分で幼穂長を確認しましょう。

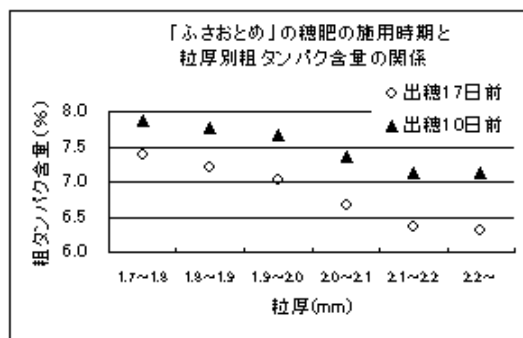


図 8 穂肥施用時期と玄米の粒厚別粗タンパク含量の関係

### □ ふさおとめ

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月15日頃から幼穂形成期を迎えるので、穂肥適期は6月22日頃からです。施肥量は、砂質土・壤質土では窒素・加里を 10a 当たり成分量で各 3kg。房総南部の粘質土では 1~2kg が目安です。

表 4 「ふさおとめ」穂肥施用の目安（幼穂形成期）

品種	穂肥施用目標茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉色(カラー スケール値)
	砂質	壤質	粘質	
ふさおとめ	570~620(32~34)	520~570(29~32)		4.0

※ 茎数の ( ) 内は 30cm×18cm で植え付けされた時の 1 株平均茎数

### □ ふさこがね

4月20日植えの「ふさこがね」は6月18日頃から幼穂形成期を迎えるので、穂肥適期は6月25日頃からです。施肥量は、窒素・加里を 10a 当たり成分量で各 3kg。

表 5 「ふさこがね」穂肥施用の目安（幼穂形成期）

品種	草丈 cm	茎数本/m <sup>2</sup>	葉色(カラー スケール値)
ふさこがね	60~65 以下	450~550(25~30)	5.0

※ 茎数の ( ) 内は 30cm×18cm で植え付けされた時の 1 株平均茎数

## □ コシヒカリ

「コシヒカリ」の幼穂形成期は6月下旬以降と想定されるので、穂肥施用については第3報（6月26日発行予定）で記載します。

## ■ いもち病防除

やや軟弱な生育状態にあるので、いもち病に注意が必要です。平均気温20～25℃で曇雨天の続く場合、葉いもちの発生が懸念されます。発生が見られたら早期に薬剤防除しましょう。

薬剤は5ページの表6を参照してください。

## ■ 出穂2週間前までの雑草防除

出穂直前の畦畔雑草はカメムシ類が水田に侵入するのを助長します。出穂2週間前頃までに畦畔雑草を刈り取りましょう。



図9 ふさこがね 6月16日 千葉市緑区刈田子

表 6 いもち病の主な防除薬剤

作用性	薬剤名	使用時期／使用回数	使用時期／使用回数の注記	10a 当たり散布量
予防	オリゼメート粒剤	右記／2回	葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 3～4 週間前（ただし、収穫 14 日前まで）に散布	3～4kg
	クタジン P 粒剤	右記／2回	葉いもちには初発 7 日前から初発時に、穂いもちには出穂 7～20 日前に散布	3～5kg
	コラトップ粒剤 5	右記／2回	葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布	3～4kg
	// ジャンボ	右記／2回	葉いもちには初発 20 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布	10～13 個
	ブイゲット粒剤	収穫 45 日前まで／2回	葉いもちには初発 20～7 日前に散布	3kg
	フジワン粒剤	収穫 30 日前まで／1回	葉いもちには初発 10～7 日前に、穂いもちには出穂 30～10 日前に散布	3～5kg
	ラブサイド粉剤 DL	収穫 7 日前まで／右記	6 回以内（ただし、穂ばらみ期以降は 4 回以内）	3～4kg
予防・治療	イモチエース粒剤	収穫 35 日前まで／1回		3kg
	カスラブサイド粉剤 DL	収穫 14 日前まで／右記	5 回以内（ただし、穂ばらみ期以降は 4 回以内）	3～4kg
	ヒノザン 粉剤 25DL	収穫 21 日前まで／3回		3～4kg
	// 乳剤 30 1,000 倍液	収穫 21 日前まで／3回		100～120 リットル
	ブラシン 粉剤 DL	収穫 21 日前まで／2回		3～4kg
	// フロアブル 1,000 倍液	収穫 21 日前まで／2回		100～120 リットル
治療	カスミン 粉剤 DL	収穫 14 日前まで／5回		3～4kg
	// 液剤 1,000 倍液	収穫 14 日前まで／5回		100～120 リットル